

## 中主地域包括支援センター 審査判定基準表

審査項目	採点項目	評価の視点	配点	提案書記載場所	
1. 法人の理念・安定性 (15点)	法人の理念	・法人の理念が受託に適した法人であるか ・高齢者の尊厳の視点が感じられるか	5	様式3	
	運営実績	・事業を適切に履行できるだけの実績があるか ・居宅介護予防支援、居宅介護支援や相談支援に関する実績 ・介護保険サービス事業等の取組状況 ・介護保険制度以外で取組んでいる事業	5	様式4-1、4-2、 様式5	
	法人の財政状況	・財務諸表等から安定的、継続的に法人運営が可能な財政基盤はあるか	5	決算書他	
2. 提案内容の実効性と有効性 (25点)	応募の動機	・応募動機や姿勢が真摯であり、運営に対する意欲及び積極性があるか ・法人等の強みや特色ある取組を活かした創意工夫が図られているか	5	様式6-1	
	事例	具体的な事例の対応方法について①	・現状のみならずその背景を明らかにしようとする姿勢があるか ・課題解決に向け、方策を複数想定できるか	5	様式6-9
		具体的な事例の対応方法について②	・本人とコミュニケーションが取れない事例に対し、どのような対応を想定できるか ・担当者のみでなく、包括内のチームで検討を行う視点があるか ・地域の役割や人材の活用が視点にあるか		
	運営	総合相談支援事業	・高齢者の相談拠点として対応し、介護保険サービスに限らず、自立支援に向けて様々な社会資源を活用し適切な支援を行う視点があるか ・地域における関係者のネットワークを築き実態把握を行う視点があるか ・複雑化した課題を抱える個人や世帯に対し、必要に応じて適切な支援関係機関につなぐ視点があるか ・相談しやすい環境に配慮する視点があるか	5	様式6-3
		包括的・継続的ケアマネジメント支援業務	・介護支援専門員に対する支援方法をどのように考えているか ・個別事例の検討や多職種連携を図る視点があるか	5	様式6-4
	事業	認知症施策推進業務	・認知症になっても地域で暮らし続けることができるための取り組みの提案が具体的か ・認知症の啓発活動をどのように推進するか ・認知症の方とその家族への支援の視点があるか	5	様式6-5
介護予防支援・介護予防ケアマネジメント業務		・高齢者の能力に応じ、地域で自立した日常生活を営めるよう支援する視点があるか	5	様式6-6	
3. 運営方針・運営体制 (20点)	休日・夜間の連絡体制の確保について		5	様式6 7- (1)	
	基本方針	公益性の確保	・公正・中立性を確保するために、どのようにセンターの運営をするかが具体的に示されているか	5	様式6 2- (1)
		地域特性を踏まえた運営	・地域包括ケアシステムの考えを理解し、応募圏域における地域課題を踏まえた方針を持っているか ・地域共生社会の視点があるか	5	様式6 2- (2)
		地域との協働	・地域の人的資源と連携、協働の視点があるか ・センターの専門職との連携や地域の介護・保健・福祉・医療等の専門職との連携が果たすべき役割を理解されているか	5	様式6 2- (3)、(4)
4. 安全管理・リスク管理 (10点)	災害時・緊急時の体制や対応方法について		5	様式6 8- (1)	
	苦情に対する対応方法や対策が整えられているか				様式6 8- (2)
	個人情報保護のための運用方法の策定がされているか 個人情報の流出紛失事故が起こった場合について対策が図られているか		5	様式6 8- (3)	
5. 人材確保・育成 (15点)	3職種の人材確保及び欠員が出た場合の人員補充体制について		10	様式7	
	職員の資質向上・専門性の向上に向けた取組について		5	様式6 7- (2)	
6. コンプライアンス遵守の姿勢 (10点)	職員の倫理の保持及び法令遵守の推進体制等について		5	様式6 10- (1)	
	不当要求行為への対応		5	様式6 10- (2)	
7. 見積額 (5点)	包括の運営が可能となっているか (最も低い見積額/当該事業者の見積金額) × 5点 (小数点以下切り捨て) ※ただし、最も高い見積額の得点は0点とする。		5	様式8、9	

評価基準	評価	配点
	提案の内容が特に優れている	5
	提案の内容が優れている	4
	提案の内容が普通である	3
	提案の内容が劣っている	2
	提案の内容が極めて劣っている	1